

戦争法 廃止へ

野党共闘の機運広がる

戦争法（安保法制）の強行採決後約1ヶ月になりますが、反対の運動は止まりません。「野党共闘」を求める声もいっそう強くなり、野党共闘の機運が広がっています。



諸団体と5野党が 意見交換 定期開催確認

戦争法に反対してきた諸団体と日本共産党や民主、維新、社民、生活の野党5党は10月16日、意見交換会を国会内で行いました（**上写真**）。民主党の枝野幸男幹事長が呼びかけたものです。

国民の運動や関心をさらに高め、来夏の参院選での野党共闘の実現などに向け、課題や展望を語り合うとともに、今後、野党5党の呼びかけで定期的に意見交換会を開くことを確認しました。

日本共産党の「国民連合政府」提案に「大変期待を持った。早く選挙をしたいという声も強く上がっている」（ママの会）などの発言もありました。



シールズ街宣に 野党5党そろい踏み

東京・渋谷駅ハチ公前で10月18日、学生の「SEA LDs（シールズ）」が「安保法制に反対する渋谷街宣」を行いました。日本共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の5野党国会議員があいさつ。議員らが壇上で手を取り合うと（**上写真**）、聴衆から「野党は共闘」のコールが沸き起こりました。

日本共産党の小池晃副委員長は「6月に渋谷で街宣したとき、野党で手をつなぐのは少しぎこちなかった。でもいまは自然。新しい民主主義が始まっている。戦争法廃止、安倍政権退陣。一緒にやりましょう」と訴え、国民連合政府の提案を紹介しました。

力をあわせ戦争法廃止の政府を

日本の平和と国民の命を危険にさらす戦争法を、一刻たりとも放置できません。憲法を壊し、国民の声を無視して暴走する安倍政権の打倒、そして日本共産党の「戦争法廃止の国民連合政府」提案の実現へ全力をあげます。ぜひ応援してください。



参議院（東京選挙区）予定候補
弁護士・30歳
やまぞえ・たく

山 添 拓

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2015年10月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可

日本共産党